



空港滑走路の使用禁止標示

サポートライン



屋外路面用仮ラインテープ

道路や駐車場の一時的なライン標示ができ、
終わったあとは再剥離できます。

W 50mm×L46m 1ケース：12巻入
W150mm×L46m 1ケース：4巻入



月刊 **SANKO NEWS** 5 2020年5月号 Vol.128

SANKO サンコー企画株式会社

石川県河北郡津幡町字旭山11番地2 〒929-0447
Tel:076-289-6708(代表) Fax:076-289-7992

当社商品に関するご注文・お問い合わせはこちらまで

Tel 076-289-6639 (直通) Fax 076-289-6637

月刊 サンコーニュース

SANKO NEWS

May
2020
Vol.128

5

路面標示で

防犯対策



暖

かな春の陽気を迎え、草木が芽吹き、植物や動物が冬の眠りから目覚めます。この時期は「木の芽時」と呼ばれ、寒暖差が激しく、昔から「精神的に一番バランスを崩しやすく、病気をしやすい」といわれ警戒されています。また春は、新学期や新年度で環境の変化が激しく、ストレスを受けやすい季節でもあります。

この時期に増え始める犯罪があるのをご存じでしょうか。窃盗犯、粗暴犯、風俗犯などは、おおむね春から増え始めます。春の不安定な気候が影響するのか、中でも風俗犯は、5月から急増し7月にピークを迎えます。今月号は「防犯対策」として活用されている路面標示を特集します。

路面標示で

防 犯 対 策

防

防犯カメラの設置が増加しています。「国内にある防犯カメラの総数が500万台近くに達していると推計」1)されています。防犯カメラの設置は犯罪が起きたときの証拠確保だけでなく、「監視している」ことによる犯罪抑止も大きな目的としています。実際に防犯カメラの設置で犯罪率が低下したというデータがあり、特に計画的な犯罪を防ぐ効果が高いと考えられています。しかし、近年の防犯カメラは小型化が進んでおり、設置しただけではカメラに気づかず、犯罪

抑止効果が発揮できません。犯罪抑止効果を高めるために「防犯カメラ設置」を表示することが必要です。左下写真の防犯カメラ設置場所では、立面に標示するスペースがなく、路面標示で防犯カメラ設置を標示しました。路面標示は通行の妨げにならず、「防犯カメラ設置」をアピールすることができます。

引用：1) 日経ビジネス 「ここまで来た監視社会 日本の防犯カメラ、500万台に迫る」 2018.11.13



パルシート W480×H600mm 【PGC12】 埼玉県 越谷市



街中でよく見かける「防犯カメラ設置」のステッカー。上から別のステッカー張られたり、落書きされることがあり、路面標示を設置したケースもある。

自転車盗難 対策

自転車の盗難も5月頃から増え始めます。カギをかけ忘れたり、「短時間だから」とカギをかけずに自転車から離れた際に盗難されるケースもあるようです。盗難防止策として、駐輪場に駐輪する、短時間でも自転車から離れるときはカギをかけることがあげられます。自転車盗難防止策として、路面標示でカギのかけ忘れ防止を呼びかける路面標示が設置されました。



クイックシート W650×H800mm 【J-D-151】 兵庫県 加西市

子どもの防犯 対策

犯罪の前兆といわれる、声かけ事案や不審者情報も春から夏にかけて増加します。「いかない、のらない、おおきなこえをだす、すぐにげる、しらせる」の頭文字をとって、「いかのおすし」という防犯標語があり、子どもに防犯対策を周知させています。日頃から防犯に対する意識を高めることで、犯罪から子どもを守ることにつながります。



クイックシート W1800×H1800mm【D-注-125】 石川県 加賀市

エンタメのすゝめ

BOOK

野村克也 「知となる、世界最強名言 105 野村克也を支えた賢者の教え」 著 野村克也
野村克也が感銘を受け、座右の銘とする、古今東西の偉人たちの名言を自身の解釈を交えて紹介。

今年2月に野村監督が亡くなったとき、本屋コーナーが設けられていて、この本に出会いました。人の心を動かし、人の才能を開花させる名言がたくさんありました。数々の名言の中で、個人的に一番好きだったのが、最後に紹介されていたサッチーの「なんとかなるわよ」という言葉でした。賢者の教えも大切ですが、後押ししてくれる言葉や人の存在が大切だと感じました。

1名言で2P読み切りで読みやすいです。僕でも読めます笑

営業課 中日本ブロック 能田 彰

MOVIE

「ショーシャンクの空に」 監督 フランク・ダラボン 主演 タイム・ロビンズ、モーガン・フリーマン
原作はS・キングの小説。無実の罪で刑務所に入れられた主人公が、物静かで根源的な力と職能を武器に、刑務所の仲間たちに尊厳を取り戻していく…。

映画にハマっていた中学時代。当時の担任の勧めで、初めて見ました。それから数十年、いろいろな映画を見ましたが、今まで見た中で一番心に残っているのがこの映画です。どんな状況でも諦めず困難を乗り越えていく主人公の姿に「希望を持ち続けること」の尊さを感じました。不安なことが多いご時世ですが、「希望を持って生きる勇気」を与えてもらえる作品だと思います。

前半とは対照的な最後のシーンが とても印象に残っています!

広報・デザイン課 松下 美雪